

2024年8月7日

イオンモール株式会社

「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続選定

イオンモール株式会社（以下、当社）は、英フィナンシャル・タイムズと独調査会社スタティスタが共同で実施した「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選出されました。

「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」は、GHG（温室効果ガス）の削減に貢献しているアジア太平洋地域の企業を選定するもので、本年は上位350社が選出されました。本調査は、2017年～2022年の売上高に対するGHG排出量（原単位）の削減量をベースに、スコップ3の開示や、CDPスコア、SBT認定などを加味して評価が行われます。

当社では、脱炭素社会実現のために「イオンモール脱炭素ビジョン」を掲げ、2025年までに、実質CO₂フリーの電力調達を進め、国内約160モールの施設内で使用するすべての電力を順次地産地消の再生可能エネルギーへ切り替え、2040年度までには、当社直営モールで使う電力を100%地産地消の再生可能エネルギーにすることをめざしています。

今後も当社は、太陽光発電設備やEV充電器の設置などによる再生可能エネルギーの取り組みを継続的に推進し、全ての事業活動で排出するGHGを総量でゼロにすることをめざしていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

イオンモール株式会社 社長室 広報グループ TEL：043-212-6733

ご参考

■ 当社の持続可能な社会に向けた具体的な取り組み

URL : <https://www.aeonmall.com/heartful-sustainable/>

■ その他 外部機関からの認証・評価

URL : <https://www.aeonmall.com/sustainability/assessment/>

<環境に関する3つのこと>



イオンモールは、脱炭素社会の実現をめざし、再生可能エネルギーの活用を積極的に進めています。モールで使う電力は自分たちでつくる、という地産地消の再生可能エネルギー創出への第一歩が「まちの発電所」です。



私たちは廃棄物の削減に取り組むとともに再利用の仕組みを構築し、ごみのごみではなく、資源として活用できるように、資源循環する社会をめざして環境課題の解決に努めています。



緑あふれる環境に配慮した施設づくりを行い、様々ないきものが共生する豊かな未来をめざして、生物多様性の保全に力を入れています。屋上や駐車場に緑化スペースを設けたり、野鳥や昆虫などの生息調査を行っています。